

# ひょうごエコタウン推進会議 平成30年度定期総会

(定期総会資料の抜粋)

日時 平成30年6月12日(火) 14:00 ~

場所 ラッセホール 2F ブランシュローズ

ひょうごエコタウン推進会議

## 平成30年度 定期総会

日時：平成30年6月12日（火）14：00～16：15  
場所：ラッセホール 2F ブランシュローズ

1. 開 会

2. 主催者挨拶 理事長 金澤 和夫（兵庫県副知事）

3. 来賓紹介 経済産業省 近畿経済産業局 資源エネルギー環境部  
環境・リサイクル課長 原口 朋明 様  
環境省 近畿地方環境事務所  
廃棄物・リサイクル対策課長 清丸 勝正 様

4. 議 事

第1号議案 平成29年度事業報告並びに収支決算に関する件  
第2号議案 平成30年度事業計画並びに収支予算に関する件  
第3号議案 役員を選任に関する件

5. 報 告

事業化検討会委員の変更に関する件

6. 閉 会

《記念講演》

演 題

『社会変化に応じた循環型社会の将来展望』

講 師

国立研究開発法人国立環境研究所

資源循環・廃棄物研究センター長 大迫 政浩 氏

## 第1号議案

# 平成29年度事業報告並びに収支決算に関する件(案)

### 1. 定期総会の開催

と き	平成29年6月16日(金) 14:00~16:15
ところ	ラッセホール 2F ブランシュローズ
挨拶	理事長 金澤 和夫 (兵庫県副知事)
議 事	第1号議案 平成28年度事業報告並びに収支決算に関する件 第2号議案 平成29年度事業計画並びに収支予算に関する件
報 告	役員の変更に関する件 事業化検討会委員の変更に関する件

【記念講演】 『エコタウンの歩んだ道と未来』  
関西大学名誉教授、大阪大学名誉教授  
関西大学 社会連携部 盛岡 通 氏

### 2. 理事会等の開催

#### (第1回理事会)

と き	平成29年5月16日(火) 14:00~15:30
ところ	(公財)ひょうご環境創造協会 資源循環部 2F会議室
議 事	第1号議案 平成28年度事業報告並びに収支決算に関する件 第2号議案 平成29年度事業計画並びに収支予算に関する件 第3号議案 役員の変更に関する件 第4号議案 事業化検討会委員の変更に関する件

#### (第1回事業化検討会)

と き	平成29年6月22日(木) 14:00~15:30
ところ	(公財)ひょうご環境創造協会 資源循環部 2F会議室
議 事	平成29年度研究会の進め方について

#### (第2回事業化検討会)

と き	平成30年3月14日(水) 14:00~15:30
ところ	(公財)ひょうご環境創造協会 資源循環部 2F会議室
議 事	平成29年度研究会の活動状況について 平成30年度研究会の活動計画について

### 3. 研究会会議の開催

#### (1) 非公募型研究会

##### (1) - 1 鉄鋼スラグの利用拡大研究会 海域利用研究 (継続)

- ①会議名 藻場造成研究WG・港湾環境研究WG  
平成29年度第1回合同WG会議
- と き 平成29年12月20日(水) 14:00~16:00
- ところ ラッセホール 5F サンフラワー
- 議 事 藻場造成研究ワーキンググループ  
(1)淡路島岩屋地区・福良地区規模拡大実証試験三年目調査結果  
(2)その他  
港湾環境研究ワーキンググループ  
(1)姫路市網干地区実証試験の施工・モニタリング状況  
(2)今後の計画について

##### (1) - 2 鉄鋼スラグの利用拡大研究会 陸域利用研究 (継続)

- ①会議名 盛土研究WG 平成29年度第1回WG会議
- と き 平成30年1月22日(月) 14:00~15:30
- ところ (公財)ひょうご環境創造協会 資源循環部 2F会議室
- 議 事 (1)実物大スラグ混合盛土試験の調査結果について  
(2)その他

##### (1) - 3 炭素繊維リサイクル研究会 (継続)

- ①会議名 平成29年度第1回会議
- と き 平成30年2月1日(木) 14:00~15:30
- ところ (公財)ひょうご環境創造協会 資源循環部 2F会議室
- 議 事 (1)RCFの物性面から見た溶解法の技術優位性について  
(2)CF不織布を使用したCFRPの機械強度およびそのリサイクルによるCFRPの機械強度の変化  
(3)その他

##### (1) - 4 CLT活用による兵庫県産木材の利用拡大研究会 (継続)

- ①会議名 平成29年度第1回会議
- と き 平成29年10月25日(水) 14:00~16:00
- ところ 兵庫県母子会館2F-A会議室
- 議 事 (1)建て替え前の林業会館の見学  
(2)CLT工法およびCLT建築物に関する情報収集  
(3)林業会館の建て替えに伴う流れ・取り組み状況  
(4)その他

(1) - 5 放置竹林資源化研究会 (継続)

- ①会議名 平成29年度第1回会議  
と き 平成29年9月27日(水) 14:10~16:40  
ところ 高田屋嘉兵衛公園 ウェルネスパーク五色  
浜千鳥 実習室(研修室)  
議 事 (1) ボイラー現地見学会  
・ボイラー見学および簡単な質疑応答  
(2) 平成29年度の研究会の進め方  
・竹チップボイラー関連  
・その他

- ②会議名 平成29年度第2回会議  
と き 平成30年2月16日(金) 14:00~16:00  
ところ (公財) ひょうご環境創造協会 資源循環部 2F会議室  
議 事 (1) 竹燃焼について  
(2) 木質バイオマスボイラーの現状  
(3) 竹燃料(チップ、ペレット)について  
(4) 竹収集の仕組みづくり  
(5) その他

#### 4. 普及・啓発活動

以下の展示会の開催と出展およびセミナー、研究進捗報告会の開催などにより普及および啓発活動を行った。

(1) ひょうご環境ビジネス展の開催

- と き 平成29年9月7日(木)、8日(金) 10:00~17:00  
ところ 神戸国際展示場 2号館 1階  
入場者数 30, 148人

(2) ひょうご環境ビジネスセミナーの開催

- と き 平成29年9月8日(金) 13:00~16:30  
ところ 神戸国際展示場 2号館 3B会議室  
参加者数 74人  
内 容 基調講演 エネルギー地域密着型事業展開  
(講師) 竹林 征雄 (NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク副  
理事長)  
講 演 1 バイオマスを活用した地方創生  
(講師) 田口 一江 (経済産業省近畿経済産業局地域開発室長)  
講 演 2 地域発! 動き始めた竹バイオマス利用  
(講師) 大谷 雄治 (兵庫県農政環境部温暖化対策課専門員)

(3) 研究進捗報告会の開催

と き 平成30年3月20日(火) 13:30~16:30

ところ ラッセホール 地下1F リリー

参加者数 63人

- 内 容
1. 鉄鋼スラグの利用拡大研究会  
盛土研究WG【神戸空港島内実証試験】  
(報告者) 神戸大学、近畿大学
  2. 炭素繊維リサイクル研究会  
(報告者) アースリサイクル(株)、アンビック(株)、  
神鋼リサーチ(株)
  3. 放置竹林資源化研究会  
(報告者) 兵庫県 温暖化対策課、近畿大学、  
神鋼リサーチ(株)

## 平成30年度事業計画並びに収支予算に関する件（案）

### 平成30年度方針

研究会活動で得た成果を基に事業立ち上げを目指す案件の積極的な支援、事業化に近づいた案件の具体的な適用先や実施方法に留意して運営する。

また、兵庫県における循環型社会形成さらには地球温暖化防止に向けた新しい課題についても、会員ニーズの把握、行政の動向、先進的技術の調査などを踏まえて、実現性の高い案件や波及効果の大きい案件を企画検討する。

会員企業が海外への事業展開を希望する案件に対し、必要に応じてひょうごエコタウン推進会議として支援する枠組み（海外事業化支援）を随時検討していく。具体的支援として、①関連情報収集、②調査事業助成制度、③設備投資助成制度、等が想定される。

### 1. 定期総会の開催

と き	平成30年6月12日（火） 14:00～16:15
と ころ	ラッセホール 2F ブランシュローズ
挨 拶	理事長 金澤 和夫（兵庫県副知事）
議 事	第1号議案 平成29年度事業報告並びに収支決算に関する件 第2号議案 平成30年度事業計画並びに収支予算に関する件 第3号議案 役員を選任に関する件
報 告	事業化検討会委員の変更に関する件

【記念講演】 『社会変化に応じた循環型社会の将来展望』  
国立研究開発法人国立環境研究所  
資源循環・廃棄物研究センター長 大迫 政浩 氏

### 2. 理事会等の開催

（第1回理事会）

と き	平成30年5月15日（火） 14:00～15:30
と ころ	（公財）ひょうご環境創造協会 資源循環部 2F会議室
議 事	第1号議案 平成29年度事業報告並びに収支決算に関する件 第2号議案 平成30年度事業計画並びに収支予算に関する件 第3号議案 役員を選任に関する件 第4号議案 事業化検討会委員の変更に関する件

(第1回事業化検討会)

と き 平成30年6月19日(火) 14:00~15:30  
ところ (公財)ひょうご環境創造協会 資源循環部 2F会議室  
議 事 平成30年度 研究会の活動計画について

(第2回事業化検討会)

と き 平成31年3月中旬  
ところ (公財)ひょうご環境創造協会 資源循環部 2F会議室  
議 事 平成30年度 研究会の活動状況について  
平成31年度 研究会の活動計画について

### 3. 研究会の活動計画

(1) 非公募型研究会

(1) - 1 鉄鋼スラグの利用拡大研究会(海域利用) 港湾環境研究WG(継続)

1) 規模拡大実証試験

・これまでの実験区での観察を継続するとともに、新たな実験区での実験も検討。

2) 環境配慮型護岸効果実験(新規)

・瀬戸内海域を「豊かな海」にするために、岩礫性の磯海岸整備が有効と考えられる。  
・今年度は岩礫性護岸整備の石材として、人工石、天然石、コンクリート塊の機能の違いを調査。

(1) - 2 鉄鋼スラグの利用拡大研究会(陸域利用) 盛土研究WG(継続)

・これまでに得られた結果をまとめ、鉄鋼スラグ混合土を盛土材料として使用していく際の設計・施工基準ガイドライン案の策定を目指す。  
・今年度は新たな実証実験地区での試験を実施していく予定。

(1) - 3 CLT活用による兵庫県産木材の利用拡大研究会(継続)

1) 実証的建築物について

・今年度は兵庫県林業会館の建て替えスケジュール等の動向を見ながら、適宜、研究会会議を開催。  
・林業会館の建て替え過程を通して、施工法や建設コスト等の知見が得られ、CLTの普及に向けた課題を調査した段階で、研究会の当初の目的が達成されたと考え、今年度内に本研究会を終了。  
・ただし、新たな提案が研究会から挙げた場合は、本研究会の継続を視野に入れる。

(1) - 4 放置竹林資源化研究会(継続)

1) 竹チップボイラーに関連する取り組みについて

・廉価な竹チップボイラーの開発を目指し、近畿大学への委託研究(竹燃焼)を継続。  
・竹チップ製造効率の向上を目指し、竹割り機械を用いた竹乾燥の時間短縮を検討。  
・ボイラーに最適な竹チップ規格の確立に向けて、形状の精度向上を目指す。



- ・地域活性化、持続可能な竹林管理のための具体的な竹収集の仕組みづくりを模索。
- 2) 竹の有効活用法の検討
- ・事業経営の確立に向けた竹パウダー、竹炭のような付加価値の高い商品の開発。

(1) - 5 CNF (セルロースナノファイバー)活用による植物性廃棄物の資源化研究会  
(新規)

1) 研究目的

- ・植物由来のCNFは、鋼鉄の5倍以上の強度を持ち、熱による変形が少ない
- ・これらの特徴により、自動車用部品、情報電子材料等への応用が期待されている。
- ・植物性廃棄物(古着(綿、麻)、古紙など)の有効活用を目的に、炭素繊維リサイクル研究会で培った解繊技術を活用し、兵庫県独自のCNFサプライチェーン構築を目指した研究を実施。

2) 当面の取り組み

- ・既存CNF製造技術や市場ターゲットの整理、解繊処理とCNF性状の明確化、CNF製造コスト検討、植物性廃棄物の回収システム検討、回収されたCNFの市場開拓の実施。

(1) - 6 メタン発酵を利用した食品残渣等廃棄物のエネルギー資源化研究会  
(新規)

1) 研究目的

- ・食品製造業から排出される食品廃棄物等の多くはリサイクルされ、その大半が飼料化・堆肥化である。
- ・地球温暖化対策の観点から、食品廃棄物等を活用した再エネ導入を促進する。

2) 当面の取り組み

- ・食品廃棄物等の発生抑制の仕組み調査、既存メタン発酵施設の調査、バイオガス等の有効活用事例の調査、事業性評価の実施。

#### 4. 国際環境ビジネス交流事業

中国(広東省等)や東南アジア、インド等との連携事業を支援しつつ、訪問団の派遣や受け入れをはじめとする各種交流事業を展開し、具体的な交流事業や協力プロジェクトの立ち上げが必要となった場合は、適宜、研究会等を立ち上げて推進することとする。

#### 5. 普及・啓発活動

平成29年度に引き続き展示会の開催と出展およびセミナー、研究進捗報告会の開催により普及および啓発活動を行う。また、昨年度リニューアルしたホームページを用い、必要に応じて情報提供も実施する。

(1) ひょうご環境ビジネス展の開催

- |     |                    |             |
|-----|--------------------|-------------|
| と き | 平成30年9月6日(木)、7日(金) | 10:00~17:00 |
| ところ | 神戸国際展示場 2号館        | 1階          |

(2) ひょうご環境ビジネスセミナーの開催

と き 平成30年9月7日(金) 13:30~16:30  
ところ 神戸国際展示場 2号館 3B会議室

(3) 研究進捗報告会の開催

と き 平成31年3月下旬  
ところ 未定

(4) パンフレット等の作成